

## 基本情報

人口：約2億300万人（2022年）  
 首都：ブラジリア連邦直轄区  
 言語：ポルトガル語  
 主要産業：農牧業（大豆、トウモロコシ、砂糖、  
 コーヒー等）、鉱業（鉄鉱石他）、製造業  
 GDP：1兆9,200億米ドル（2022年）  
 一人当たりGDP：8,917米ドル（2022年）  
 経済成長率：2.9%（2022年）

## 国別開発協力方針 重点分野他

### (1)都市問題と環境・防災対策

- 都市環境の悪化に対し、日本の先進的な技術を活用した環境負荷の少ない環境配慮型都市構築の分野において、環境・衛生の改善、交通渋滞の緩和に向けた支援を行っていく。また、防災や地球規模課題の解決に資する支援も行っていく。

### (2)投資環境改善

- 産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援を行っていく。

### (3)保健分野の協力

- 新型コロナウィルスの流行を受け、検査に必要な機材供与を実施。将来の感染症流行に備え、ゲノムモニタリングに係る協力も行っている。新型コロナウィルス発生以降も頻繁に感染症が流行する等、依然保健分野においても課題を抱えている。

## 特徴的な現地の課題

### 課題1. 都市・防災（環境・衛生の悪化、交通渋滞、自然災害への脆弱性）

死傷者、避難者を多く出す自然災害（洪水、土砂災害等）が頻発。自治体の防災・予防体制の整備が遅れている。人口の8割以上が都市部に在住し、都市化が急速に進んでいるが、それに見合った都市部のインフラ整備が遅れている。



### 課題2. 森林・自然環境の保全

温室効果ガスの排出量も世界上位、削減ポテンシャルが高く気候変動の影響を受けるリスクも高いことから、気候変動の緩和・適応が求められる。

世界第5位の温暖効果ガス（GHG）排出国であり、伯政府は2050年までにNet Zeroを目指すとしている。

広大な国土を活用し太陽光発電が進められている。北東部・南部では風況も良く、太陽光・風力発電を用いたグリーン水素事業の検討が進められている。



### 課題3. 農業（スマートフードチェーン、生産安定供給）

世界の食料供給国としての役割：2050年までに穀物・食肉類の生産を70%増加させる必要がある。他方、伯政府は2030年までに違法森林伐採ゼロを掲げており、農地拡大の余地は限られる。

資金力のある大規模農家では機械化やスマート農業化が進み、資金力のない中小零細農家は停滞しており、二極化が進む。劣化農地の改良を通じた食料増産も課題。



## 事例① ダイキン工業（株）

ブラジルで環境に優しいエアコンを  
官民連携で省エネ基準改正を実現

案件名	高効率インバータ式空調機普及事業
企業名	ダイキン工業(株)
カウンター パート名	ブラジル国家度量衡・規格・工業品質院 (INMETRO)
成果	省エネ対策が脆弱なブラジルにおいて、省エネ効果の高いインバータ式高効率空調機の普及を図るために働きかけた結果、2020年7月、空調機向けの省エネ基準が改正。



←写真左  
新制度の開始を告知するブラジル国家度量衡・規格・工業品質院 (INMETRO) のウェブサイト

写真右 →  
ブラジル政府関係者の日本  
来訪の様子 (2019年)



## 事例② 会宝産業（株）

自動車リサイクルで  
地球規模の循環社会の確立を目指す

案件名	環境配慮型自動車リサイクルシステムの普及・実証事業
企業名	会宝産業(株)
カウンター パート名	ミナスジェライス州国立工業技術大学 (CEFET MG)
成果	CEFET MGにて自動車リサイクルセンターを開設し、座学マニュアル制作と解体技術指導を行った。その後、現地企業への出資を通してブラジル事業を進めている。



←写真左  
会宝産業技術者による解体  
技術指導の様子

写真右 →  
ミナス・ジェライス州交通局の  
盗難車回収所に羅列する  
自動車



## 本件に関する連絡先

■ JICA ブラジル事務所

齊藤 広子

[Saito.Hiroko@jica.go.jp](mailto:Saito.Hiroko@jica.go.jp)